

本大会は新型コロナウイルスの感染予防を考慮し、オンラインでの開催となります。

第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム 東京 東大和大会 大会概要

戦争遺跡を活用し、平和の思いを伝えよう

～戦争被害者・加害者とならないために～

主催

戦争遺跡保存全国ネットワーク

第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム東京 東大和大会実行委員会

共催

東大和・戦災変電所を保存する会/浅川地下壕の保存をすすめる会/武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会/陸軍少飛平和祈念の会/八王子平和・原爆資料館/731部隊遺跡世界遺産登録を目指す会/調布飛行場の掩体壕を保存する会/軍医学校跡地で発見された人骨問題を究明する会/戦場体験放映保存の会

後援

東大和市・東大和市教育委員会/東京都建設局西部公園緑地事務所/公益財団法人たましん地域文化財団



多数の被弾痕が残る旧日立航空機株式会社変電所
撮影 戸川 寛

趣旨

当初、本大会は、2020年8月の開催予定でしたが、新型コロナの感染拡大の為、残念ながら延期せざるをえず、2021年10月の開催になりました。現在、戦後76年。「戦後生まれ」世代は2018年10月で総人口の85%を超えました(総務省統計局「人口推計」より)。逆に空襲体験がある、戦争の記憶がある世代は1割を切ったといわれ、戦争体験者から直接その貴重な体験を聞くこと自体が極めて困難になっています。そのため戦争体験のない者が次世代に伝える新しい継承の取り組みが必要とされ、いま全国で様々な試みがなされています。その意味で、戦争遺跡・遺構、遺物などは、リアルな戦争の記憶を伝えることが出来るものとして益々重要になってきています。

東大和市は、東京都多摩地区にある東西5.3km南北4.3kmの自然に恵まれた住宅地が広がる町です。当市を含む多摩地区は戦前、軍事施設や航空機産業が集積した首都防衛の「空都」と呼ばれた地域です。東大和市(当時は大和村)にも1938年東京瓦斯電気工業株式会社(翌年に国策として日立航空機株式会社に改編)が大田区(当時は大森区)大森から移転、航空機エンジンの生産を行っていました。その為、三度にわたる米軍の空襲を受け、多くの死傷者を出しています。

戦後は都心のベッドタウンとして多くの人に移り住んで、現在人口8万5千人、公民館を中心とした市民活動も活発です。1981年には公民館講座「太平洋戦争と郷土」に参加したひとたちが、空襲を体験した市民の体験談を聞き書きして、戦争体験を後世に残す活動を始めました。そして、講座で初めて日立航空機の被弾した変電所や給水塔の存在を知り衝撃を受け、その保存を求めて市議会に陳情するなど、市民にこれらの建物の重要性を訴え、その後の官民一体となった東大和市での戦争遺跡の保存運動のまさに先駆けとなりました。

しかし、その後の東大和市の2つの戦争遺跡の足跡は大きく異なります。傷だらけの姿をそのまま残す形で変電所は保存されるに至り1995年には東大和市の指定文化財にもなりました。一方、変電所と同様に被弾した給水塔は、土地所有者の企業との価格交渉が折り合わず2001年に残念ながら取り壊されました。保存運動の明暗を示し、遺跡を残すことの困難さを次世代へ伝える教訓的な出来事でした。

現在、東大和市は、2021年7月末完了予定で1年かけ約1億3千万円の予算で2回目の大規模修繕工事を行っています。修復された戦災変電所は、8月下旬には一般公開を予定しています。平和の尊さ、戦争の現実を伝え、次世代へつなぐ存在としての戦災変電所でお会いすることを願い「戦争遺跡を活用し、平和の思いを伝えよう」とのテーマで「戦争遺跡全国シンポジウム 東京 東大和大会」を開催します。

日 程

10月2日(土)

(1) 全体会

10時00分 開会

- 主催者挨拶 東京 東大和大会実行委員長 小須田 廣利
- 歓迎挨拶 尾崎 保夫 氏 (東大和市長)
- 基調講演 人間文化研究機構国文学研究資料館
准教授 加藤 聖文 氏 テーマ「戦争の記憶から記録へ」
- 基調報告 戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表 出原 恵三
- 地域発表 「多摩地域の戦争遺跡」浅川地下壕の保存をすすめる会事務局長 齊藤 勉
「大規模修繕後の日立航空機変電所の紹介」東大和・戦災変電所を保存する会
- 閉会挨拶 戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表 十菱 駿武

1日目は、14時30分の終了を予定しています。

10月3日(日)

分科会

10時00分～15時00分 分科会 (12:00～13:00は昼食となります)

- ・ 第1分科会「保存運動の現状と課題」
- ・ 第2分科会「調査の方法と整備技術」
- ・ 第3分科会「平和博物館と次世代への継承」

(注) 3分科会とも参加者が自由に出入り可能となるように予定しています。

参加費

両日全体で 一般 2,000円 大学院生・大学生 1,000円 高校生以下無料

戦争遺跡保存全国ネットワークとは

各地の戦争遺跡保存団体、文化財保存全国協議会、歴史教育者協議会などを中心に、団体や個人が集い、1997年に「戦争遺跡保存全国ネットワーク」が結成されました。戦争遺跡の調査・研究・保存運動、平和資料館、平和教育などについて情報交換をするために、「戦争遺跡資料」の刊行、「戦争遺跡保存全国シンポジウム」の開催などおこなわれています。

オンライン大会の参加申込の方法

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム東京 東大和大会は、ビデオ会議システムZoomを使ってオンラインで開催いたします。

参加申込と参加費の振込

参加申込には、下記のホームページに大会申込ページ（例示参照）が設置されていますので、該当ページより必要事項に記入して送信願います。参加申込をされたアドレス宛に自動的に参加申込書のコピーが届きます。もし、届かない場合は、アドレスに不備がある可能性がありますので再度送信願います。なお、紙ベースでの参加をご希望の方は、別添の申込書に該当事項を記入の上郵送願います。

▶第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム東京 東大和大会 (<http://24senisekishinponikitajp>) ◀

参加費を下記宛てに振込願います。

[代金払込先] ゆうちょ銀行 [口座記号番号] (記号) 11300 (番号) 15246231

(注) 従来の払込取扱票は使えません

ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は、振込手数料 窓口 146円 ATM 100円 通帳もしくはキャッシュカードをお持ちになり手続きください。ゆうちょダイレクトも使用可能です。

ゆうちょ銀行に口座をお持ちで無い方は、ATMは使えません。窓口での振込手数料は550円となります。郵便局にて電信払込請求書・電信振替請求書を請求の上お使いください。

日常、ご使用の銀行からの銀行振込（含むATM等）も可能です。

その場合は、ゆうちょ銀行一三八店（イチサンハチ店）（普）1524623に振込み願います。振込手数料は、各銀行の規定によります。

[加入者名] 第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム東京東大和大会実行委員会

[申込締め切り] 8月31日（火）

参加申込書ページ（例示）

The image shows a screenshot of a web-based registration form titled '参加申込書' (Registration Form). The form includes fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'お名前' (Name). Below these is a section for '参加費入金日' (Payment Date) with a dropdown menu. A large box labeled '略' (omission) covers the '大会のお知らせをどちらで知りましたか。' (How did you learn about the conference?) section. At the bottom, there is a '送信ボタン' (Send Button) highlighted with a red arrow. The footer contains contact information for the organizing committee.

参加申込をされた皆さまには、開催日の1週間前の9月25日（土）までに参加用URL・ミーティングID・パスワード等をお申込みいただいたメールアドレス宛てに順次送付します。

郵送希望の方は、下記申込書をお使いください。

郵送先 〒207-0023 東京都東大和市上北台2-371-3-17-508 後藤 祥夫

第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム東京 東大和大会・参加申込書

(1)お名前・Eメールアドレス等連絡先

| | | |
|-----------------|----------|--|
| （ふりがな） 参加者氏名 | | |
| 所属団体 | | |
| 参加者連絡先 | Eメールアドレス | |
| | 電話番号 | |

(2)参加者の区分

| 種類 | 参加費 | 該当に○印 | 入金日 |
|----------|--------|-------|--------------|
| 一般 | 2,000円 | | 2021年 月 日() |
| 大学院生/大学生 | 1,000円 | | |
| 高校生以下 | 無料 | | |

(3)参加される分科会をひとつ選んでください。ひとつに決められない場合はその他を選んでください。
なお、分科会は自由に参加可能となる予定です。

| 分科会 | | 該当に○印 |
|-------|---------------|-------|
| 第1分科会 | 保存運動の現状と課題 | |
| 第2分科会 | 調査の方法と整備技術 | |
| 第3分科会 | 平和博物館と次世代への継承 | |
| その他 | | |

(4)大会のお知らせをどこでお知りになりましたか。該当する項目にチェックをお願いします。

- 戦争遺跡ネットワークの会報 ホームページ(どちらかの)
 大会の開催概要 友人・知人
 チラシ その他 ()

[参加申込先] 下記あてに郵便でお申込み下さい。

郵送は「〒207-0023 東京都東大和市上北台2-371-3-17-508 後藤 祥夫」宛、
本紙を同封してお申込下さい。

問合せ・連絡先 携帯080-1113-7342 FAX042-564-2463

[代金払込先] ゆうちょ銀行

[口座記号番号] (記号)11300(番号)15246231

[加入者名] 第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム東京東大和大会実行委員会

[申込締め切り] 8月31日(火)

※分科会レポート発表は、別途申し込みが必要です。(別紙参照)

※「第24回戦争遺跡保存全国シンポジウム東京 東大和大会」に関する参加申込み等に関しては
戦争遺跡全国ネットワークのHP <https://sensekinet.jimdofree.com/>もしくは第24回戦争遺跡全国
シンポジウム東京東大和大会HP <http://24senisekishinpo.nikita.jp/> を参照してください。